

赤ちゃんの
みかた

四
七
く
よ

【連載】
肌のトラブル

赤ちゃんの皮膚は、いろいろな刺激にさらされ、季節の変わり目や成長の時期によつてトラブルが生じる場合もあり、「湿疹を作つてしまつた」と自分を責めるママもいて心配事のひとつとなつてゐるようです。今回は赤ちゃんの肌とつき合う工夫や手入れの方法などを探つてみましょう。

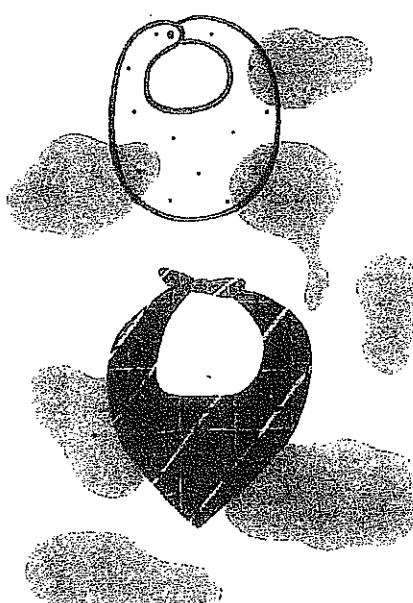
「おまえ、おまえの手足が、

赤ちりの匂いがする。白で赤さが目立つたり、デリケートな肌ですぐにトラブルにつながる場合など

の刺激となりかぶれにつながることがあります。肌が赤くなる前に予防できることが一番ですので、お風呂上がりやオムツ交換時には薄く肌になじむオイルを塗るようになります。オイルを塗布することで皮膚を保護し、うちが肌に付着することからも守つてくれます。

お手取り 洗髪を外すと
みましよう。おしり拭き用にガーゼの
ハンカチを数枚用意して使い回すと、
ガーゼが肌になじむ柔らかさになり便
利に使えます。

しゃつて……」



The image consists of two black and white photographs of a person sitting cross-legged, viewed from behind. The person is wearing a dark, textured garment. The background is plain white. Several hand-drawn zigzag lines are drawn around the person, creating a sense of confinement or energy flow. The top photograph shows the person from a slightly higher angle, and the bottom photograph shows the person from a lower angle.

どうさまざまです。特に眠くなるとからだの熱を放散するために手足や顔など末梢の血管が開いてあたたかくなりかゆみが増すようで、目を擦る、顔を擦りつける、耳をかくなどの仕草もみられます。小さな赤ちゃんは特にかゆい所にうまい具合に手が届かず、耳や頭をわしづかみにして、ひつかき傷になります。血がにじむこともあります。

かゆがり擦りつけてくる場合は、冷たいタオルやガーゼなどでトントン軽

く冷やしてあげながら、おとなの指の
腹で傷つけないように気をつけて、か

もししばらく続くこともあります。水たまりなどと笑って話されるママもいます。スタイルの素材によって肌荒れにつながる場合もあります。それぞれの赤ちゃんの肌に合う素材を選べることいいですね。中にはガーゼやハンドタオルで格好いいバンダナ風に後ろからゴムで止めて工夫されている人もいます。また、赤ちゃんの肌に合うオイルを肌に薄く塗布し保護しておくのが無難かもしれません。

まだ活発に動き回ることのできない時期の赤ちゃんは、首の回りの皮膚が密着し、よだれや汗、ほこりも入り込みやすく、首筋が赤くただれる場合が

所ですので、お風呂の時には肌荒れにつながっていないか見てあげるようにしてください。

肌は一旦赤みや湿疹が出ると落ち着くまでに時間が必要です。ママの気持ちは赤ちゃんに伝わります。焦らずに「時期が来れば落ち着く」と、ゆったり赤ちゃんの肌につきあいましょう。

かゆがつて赤ちゃんがイライラしたようにぐずぐずとむずかることもあるかもしれませんのが、おとなとの手で優しくなでてあげながら気分を変える工夫を考えてあげたいのですね。

母の友 2020年12月号より

冬は、手洗い＆消毒を毎日何度もしていて、いつも以上に手荒れもひどい!!なんて人もいると思うが、子どもにとっては、ちよとしたものでも車椅子になっている場合もあり〼ですね。皮膚の乾燥感もそうですが、水分補給で、内側からもしっかりケアしてあげないと、なかなか飲めない子は、その子の口の大きさより直径が大きいですね。水分が苦手な子もこまめに食文化の工夫してみていいですね。なかなか飲めない子は、水分(甘くないもの)を食事をしっかりとって、元気に過ごしたいですね。小さなカップ(あちこちサイズくらいのもの)で飲み物に挑戦してみてね。しっかり、水分(甘くないもの)を食事をしっかりとって、元気に過ごしたいですね。